

海と森林は

ま
な
び
や

自然がくれた 学舎

よりよい生涯学習社会の創造をめざして



町づくりは人づくり

学校教育、家庭教育、社会教育の三つの教育のほかに、豊かな海・森などの美しい自然環境や歴史資源などをフルに活用した「ふるさと教育（環境教育）」が求められています。

ふるさとを愛する心は、母を想う子供心に似て、誰もがもっているとても暖かい気持ちです。のびのびとした美しい自然環境、素敵な仲間がいっぱいいて、素晴らしい思い出がたくさん生まれる環境があれば、ふるさとはいつまでも優しい存在として心をなごませてくれます。

ふるさとを思い、愛する子どもたちを育てるため、家庭、学校、地域が一体となつて環境づくりを進めています。

学校教育

町内の小中学校では教育のローガンとして「人間として調和のとれた子供の育成」を掲げ、各種体験学習やボランティア活動などを通して、地域に開かれた学校教育の実践に努めています。

小学校三、四年生は社会科の副読本「わたしたちのまち上ノ国」を用いて、地域社会の姿や歴史の学習をするほか、学習課程にあわせ「旧笹浪家」や「勝山館跡ガイダンス施設」を通して歴史に触れています。

保・小連絡協議会や「学びの共同体」活動で、保育所〜高校間の実践交流にも取り組んでいます。





社会教育

それぞれの世代が自らを高め、いきがいを見いだす生涯学習や地域おこし活動に取り組んでおり、教育委員会・生涯学習推進本部が実施する各種講座や、五地区推進会議でもそれぞれ特色ある事業が展開されています。

女性の活動も活発で、「母さんの手づくり芸能発表会」など、いろいろな文化・スポーツ活動に取り組んでいます。



ふるさと教育

ふるさとを再発見しようという活動や歴史、自然体験学習も盛んで「地引き網体験」「夷王山ウォークラリー・植物観察」「歴史探訪」や「登山会」などが毎年行われています。

また、夷王山周辺の緑化、環境保護を目的とした「夷王山を愛する会」も「夷王山をエゾヤマツツジで真紅に！」を合言葉に、緑と花による地域づくりに取り組んでいます。

